

進路通信

太田市立太田高等学校進路指導部

第2号 令和3年5月31日

～科目別定期考査・大学受験向け学習のアドバイス編～

1学期の中間テストが終わりましたが、学習にはしっかり取り組めたでしょうか？1年生は高校での学ぶ内容の多さに慌てたかもしれませんね。3年生はこれから大学受験など進路選択が控えている重要な時期ですね。これからどう勉強していったらいいのだろう？と悩んでいる人に参考になればと考え、進路指導部に所属する国語・社会・数学・理科・英語・商業を担当する先生方に、定期考査や受験（商業科は検定）を見据えた学習方法のアドバイスをいただきました。ぜひ、参考にしてください。

【国語】

○定期考査に向けて

基本的には授業内で覚えられるものは覚えてしまう。家では復習を中心に学習を進める。現文・古典は本文の読み直しをし、話の内容や論理の展開をおさえる。古文・漢文は文法や単語などで問われやすい箇所がはっきりしているので、授業で強調されていたところを確認する。

○大学受験に向けて

3年生になるまでに語句や文法を仕上げしておく（3年次は問題演習を中心に進める必要があり、他の教科との兼ね合いから3年次に語句・文法をやる時間はない）。本校は小説読解問題が弱いので、1、2年生のうちに朝読書の時間を活用して多くの小説を読むことも良い。

○その他・学習全般について

学習では量より質が求められますが、量をやらないと質の上げ方が分からないので、まずは量を増やすべきだと思います。

【社会】

○定期考査に向けて

バラバラに存在している教科書・プリント・ワークなどの情報を何か1冊に集約する（最重要）。

※学習すべき内容が散在している時点でやる気は出ない・効率が悪い

全体のなかで何をやっているのかわからないので自分の成長が実感できない

→1冊に集約したものを4～7周読み込んで復習する（定着までに個人差あり）

→3週目以降でいまだに覚えられていないところに線を引く or 付箋を貼る or ノートにメモする

※1週目からこれをするとう付箋だらけ、すべてにアンダーラインで無意味

以上の手順で全体の流れをつかみながら知識の穴をなくしていく。

○大学受験に向けて

・基本的に上記「定期考査に向けて」と同じ。参考書をできるだけ少数に絞り、模試や定期試験、課題における重要な情報や間違った問題をそこに書き込むなどして集約していく

・過去問研究を徹底し、頻出内容を参考書などに書き込み集約する。また、1問1答集などで大学合格に必要な知識のレベルを確認し、そのレベルの語句を完璧にする。

○その他・学習全般について

・受験勉強は、がむしゃらに何かをこなすことだけでは意味がないし、勉強は続かない。自分の成長を実感でき自信とやる気を得られるように、散在する情報を少数の参考書に集約して、それを完成させ、自信をつけることが何よりも大切。

【英語】

○定期考査に向けて

・とにかく50分間授業に集中すること。 ・教科書本文は覚えるくらい読み込もう。

○大学受験に向けて

・中学校の内容が定着していれば、大学受験の大半に対応できます。とにかく基礎を大切にしましょう。

○その他・学習全般について

・単語命！トイレの壁に貼って覚える。 ・楽しいと思える教材（本、映画、音楽）を通じて勉強する。

・英語の映画を、日本語・英語字幕を付けたり消したりして何度も見る。

【数学】

○定期考査に向けて

- ・ まじめに授業を受けて、わからないことをそのままにしない。
- ・「今日はここまでやる」と決めて、集中してそれに取り組む。 ・ 忙しくても、睡眠時間は削らない

○大学受験に向けて

- ・ 基本的な公式をマスターする。 ・ 典型的な問題をマスターする。
- ・ 問題演習のときは、自分で考える。わからなくて解答を見た場合、解けなかった理由を明確にする。

○その他・学習全般について

- ・ 自習の時間を無駄にしない。 ・ 未来の自分のために頑張る。夢の実現のために頑張る。

【理科】

○定期考査に向けて

・ 定期考査は範囲も狭いので、授業の内容をしっかりと理解した上で、学校で配付された問題集を全て完璧にするつもりで取り組むとよいと思います。

○大学受験に向けて

・ 学年によって異なると思いますが、最終的に必要な学力（赤本等で確認）から逆算し、現在から入試までの受験プランを立てるとよいと思います。現在の学力と赤本レベルまでの学力差をどのように埋めていくのかを考える上で、問題集や参考書選びも大切だと思います。必要であれば学校の先生などに相談してみるとよいと思います。

○その他・学習全般について

・ どうしても行きたい大学や学部がある人にとっては、テストや偏差値がいつも頭から離れないかもしれません。けれども、そうしたプレッシャーを常に感じていると、問題を解けることが目標になってしまいます。難関大学に合格した生徒に共通しているのは、勉強時間が多いことは当然ですが、演習問題に心底分かるまでじっくり取り組んでいることだと思います。逆に、理解することに喜びを感じたり、学問の楽しさを知ったりするからこそ、高いレベルまで到達できるのだと思います。受験勉強は苦しいものですが、学ぶことの楽しさを見失わずに取り組んでほしいと思っています。

【商業】

○定期考査に向けて

・ 授業でわかったつもりでいても、テストや検定試験のときに解けないのはなぜか？それは、一人で学習する時間が絶対に必要なのに、足りていないから。授業内容については、メモをとったり、終わった後に友人と教えあったりするなどして、1人で家庭学習するときに役立つようにしましょう。

・ 課題は早めに取り組んで、苦手なところ、わからないところを発見しよう。間違った問題は、内容の理解に戻って、どうしてそうなるのかを追究しよう。

- ・ 先生や友達、スタディサプリを上手に活用して評定平均UPを目指そう。

○検定合格に向けて

・ 簿記も情報も、内容を理解しているか問われる傾向です。問題が解けたと思ったら、是非、その内容をしっかり理解できたのか振り返ってみてください。1つ1つのなぜ？どうして？が高度資格取得につながっていきます。努力は必ず自分に返ってくる！あきらめずにやってみよう！

【編集担当より】複数の科目に共通していえることは、「授業に集中すること」「基礎・基本（教科書の内容、文法や単語、用語、公式）を大事にすること」「自分のわからないところを発見し、わかるようにしていく」ということでしたね。また、できる限り早いうちから十分な時間を学習に充てることも大事でしょう。部活動などで難しい！という人もいるかもしれませんが、部活動で培われた体力や集中力は、必ず学習にも生かされるはず。授業に集中し、空いた時間を上手に使いましょう。（以下はアイデア）

- ・ スタディサプリの動画をスマホにダウンロードして電車通学の時間にイヤホンで聴く
- ・ スマホの待ち受け画面やベッドのすぐ傍の壁などよく見る場所に覚えたい内容を貼ってみる
- ・ 眠る前に覚えたことを、目覚めた時に復習する（記憶が定着しやすくなると言われている方法）
- ・ 覚えられているか自分で何度も確認テストをしてみたり、人に教えてあげたり、自分で問題をつくったりしてみる → 受け身でなく、能動的になることで、記憶は定着しやすくなる。

学問に王道なし。コツコツ頑張ろう！アドバイスをくださった先生方、ありがとうございました。